

2012年1月30日

社団法人全国高等学校PTA連合会 株式会社リクルート 合同調査

「第5回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2011」より

震災後、高校生は「ボランティア活動」への意欲が高まり、
保護者も「積極的に参加してほしい」が増加

～「将来や進路の考え方」に変化があったのは高校生・保護者ともに1割強～

社団法人全国高等学校PTA連合会

会長 相川順子

進路対策委員会委員長 正木毅

株式会社リクルート 進学カンパニー長 田中浩嗣

社団法人全国高等学校PTA連合会(所在地:東京都千代田区 会長:相川順子)と株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)は、高校2年生とその保護者に対し、進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探る調査を実施いたしました。ここに集計結果がまとまりましたので、「高校生と保護者の将来や将来の考え方に対する3.11東日本大震災の影響」についてご報告いたします。

■「将来や進路の考え方」に変化があったのは、高校生13.8%、保護者12.6%。【P3】

■「将来や進路の考え方」に変化があったと回答した高校生は、「社会や人の役に立ちたい」が25.9%。保護者では、「地元で進学・就職してほしい」が33.1%。【P4・5】

■高校生の震災・原発事故前後で最も変化の大きかった項目は、「ボランティア活動などに積極的に参加したい」(24.1ポイント増)、次いで「毎日を大切に生きていきたい」(16.8ポイント増)。【P6】

<まあそう思う・とてもそう思う 計>

- ・「ボランティア活動などに積極的に参加したい」 (33.7%→57.8% 24.1ポイント増)
- ・「毎日を大切に生きていきたい」 (67.5%→84.3% 16.8ポイント増)

■保護者の震災・原発事故前後で最も変化が大きかった項目は、「ボランティア活動などに積極的に参加してほしい」(17.5ポイント増)、次いで「自分たちが日本を変えたいと思うようになってほしい」(10.1ポイント増)。【P7】

<まあそう思う・とてもそう思う 計>

- ・「ボランティア活動などに積極的に参加してほしい」 (48.1%→65.6% 17.5ポイント増)
- ・「自分たちが日本を変えたいと思うようになってほしい」 (24.1%→34.2% 10.1ポイント増)

データ転載の際には、“(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ”と明記していただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/form/inquiry_press.php

【調査概要】

■調査目的

- －高校生をもつ保護者とその子どもにおける進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探り、進路に関する保護者と子どものコミュニケーションや進路サポートのあり方を考えるための資料とする

■調査主管

- －社団法人全国高等学校PTA連合会
- －株式会社リクルート 進学カンパニー

■調査方法

- －学校通しの質問紙による自記式調査
- －高校生 ホームルーム時にアンケート実施
- －保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡しで依頼、実施
クラスごとに学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収

■調査対象

- －高校生(2年生)とその保護者
- －社団法人全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校27校
※各都道府県:3校(普通科2校・専門学科もしくは総合学科1校)
※各校:2年生2クラスの生徒とその保護者

実施年	調査対象校所在地
2011年	北海道 青森県 茨城県 東京都 新潟県 愛知県 大阪府 鳥取県 佐賀県

■調査期間

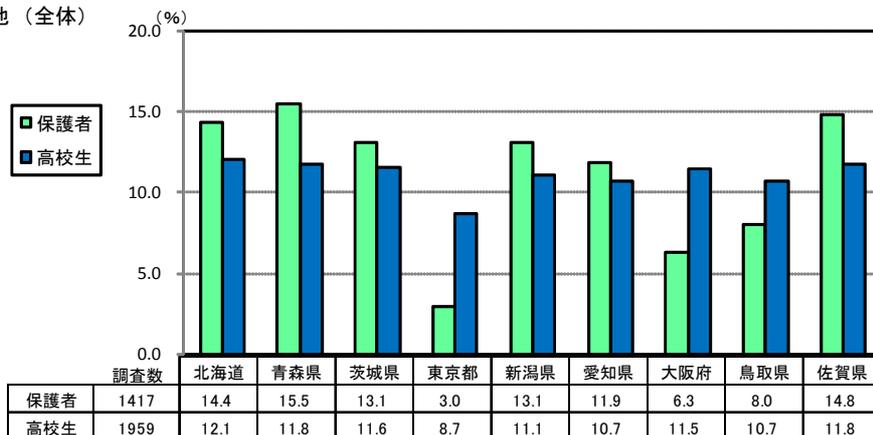
2011年9月20日(火)～10月31日(月)回収終了

■有効回答数

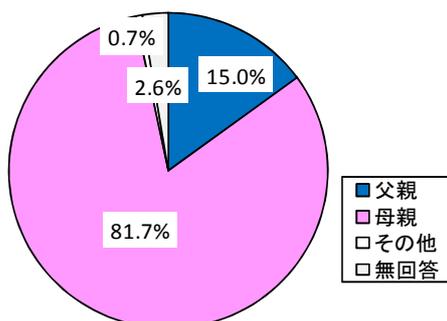
	保護者	高校生
2011年	1,417	1,959

【回答プロフィール】

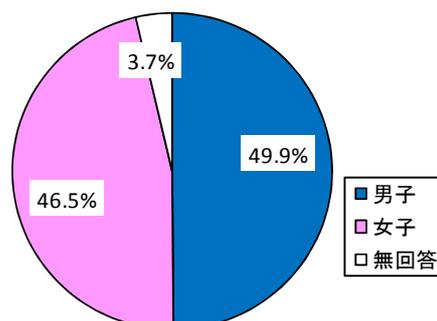
■調査対象校所在地 (全体)



■続柄 <保護者> (全体/単一回答)



■性別 <高校生> (全体/単一回答)

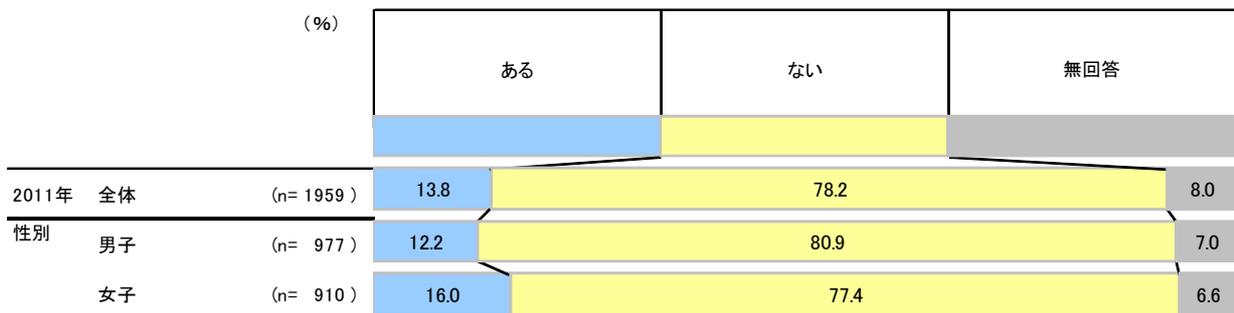


【震災・原発事故の影響により「将来や進路の考え方」に変化はあったか】

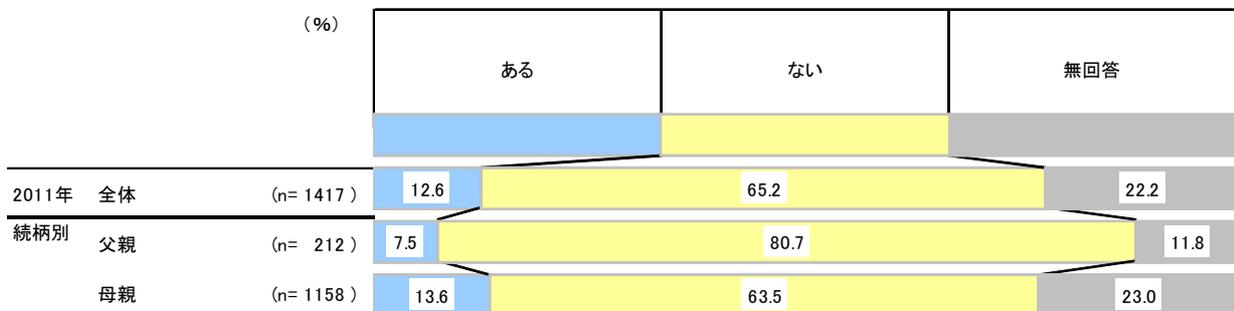
◆ 震災や原発事故により「将来や進路の考え方」に変化があったのは、高校生13.8%、保護者12.6%。

- ・高校生の13.8%が震災・原発事故により「将来や進路の考え方」に変化があった。
- ・男女別にみると、男子よりも女子の方が考え方に変化があったと回答。
- ・保護者の12.6%が震災・原発事故により、「子どもの将来や進路について」保護者自身の考え方に変化があった。

■【高校生】 震災・原発事故により「将来や進路の考え方」に変化があったか（全体／単一回答）



■【保護者】 震災・原発事故により「子どもの将来や進路について」保護者自身の考え方に変化があったか（全体／単一回答）



【（高校生）震災・原発事故の影響による「進路や将来の考え方」の変化】 （自由回答カウント）

■【高校生】震災・原発事故の影響による「将来や進路の考え方」の変化（自由回答カウント）
（変化があった／複数回答）

総発言数における%（カッコ内は件数）	全体	性別	
		男子	女子
変化ありと回答した総発言数	259	111	143
社会や人の役に立ちたい	25.9 (67)	20.7 (23)	28.7 (41)
毎日を大切に生きたい	11.6 (30)	6.3 (7)	16.1 (23)
就職がますます難しくなった	8.5 (22)	9.0 (10)	8.4 (12)
地元を離れたくない・災害が起きそうな場所へは行きたくない	5.0 (13)	4.5 (5)	5.6 (8)
命の尊さを考えるようになった	5.0 (13)	7.2 (8)	3.5 (5)
ボランティアに参加したい	3.1 (8)	2.7 (3)	3.5 (5)
人と人のきずな、助け合いを大事にしたい	3.1 (8)	4.5 (5)	2.1 (3)
しっかり勉強して就職しようと思った	2.3 (6)	1.8 (2)	2.8 (4)
医療に携わりたい	1.9 (5)	—	3.5 (5)
自分にできることはやる	1.9 (5)	2.7 (3)	1.4 (2)
あたりまえの日常に感謝したい	1.5 (4)	1.8 (2)	1.4 (2)
将来について考えるようになった	1.5 (4)	1.8 (2)	1.4 (2)
物事に関心を持つ	1.5 (4)	0.9 (1)	2.1 (3)
災害に備える意識が強まった	1.5 (4)	0.9 (1)	2.1 (3)
日本を立て直したい・復興に役立ちたい	1.5 (4)	2.7 (3)	0.7 (1)
進学か就職か慎重に考えるようになった	1.2 (3)	1.8 (2)	—
資格を取りたい	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
原発に反対	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
責任を持つと思った	1.2 (3)	0.9 (1)	1.4 (2)
しっかり生きようと思う	1.2 (3)	1.8 (2)	0.7 (1)
政府は無力	1.2 (3)	2.7 (3)	—
教職に就きたい	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
やりたいことをやっていこう	0.8 (2)	—	1.4 (2)
災害は他人事ではない	0.8 (2)	—	1.4 (2)
自分、人間の無力さを感じた	0.8 (2)	1.8 (2)	—
原発については慎重に考えるべき	0.8 (2)	1.8 (2)	—
原発、放射線についての関心が高まった	0.8 (2)	—	1.4 (2)
日本には住みたくない・日本で暮らすことに不安	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
節約意識が高まった	0.8 (2)	1.8 (2)	—
エネルギー問題に取り組みたい	0.8 (2)	1.8 (2)	—
この世は無常である	0.8 (2)	1.8 (2)	—
震災に衝撃を受けた・被災地が心配	0.8 (2)	0.9 (1)	0.7 (1)
自分だけ楽をしてはいけない	0.8 (2)	—	1.4 (2)
その他	7.7 (20)	11.7 (13)	4.2 (6)

【（保護者）震災・原発事故の影響による「進路や将来の考え方」の変化】 （自由回答カウント）

■【保護者】震災・原発事故の影響による「子どもの将来や進路について」保護者自身の考え方の変化（自由回答カウント）
（変化があった／複数回答）

総発言数における%（カッコ内は件数）	全体	続柄	
		父親	母親
変化ありと回答した総発言数	166	15	147
地元で進学・就職してほしい	33.1 (55)	20.0 (3)	33.3 (49)
毎日を大切に生きてほしい	10.2 (17)	6.7 (1)	10.2 (15)
社会や人の役に立つ人であってほしい	8.4 (14)	13.3 (2)	8.2 (12)
あたりまえの日常に感謝してほしい	7.2 (12)	6.7 (1)	7.5 (11)
家族を大切に作る・してほしい	3.6 (6)	—	4.1 (6)
自分の頭でしっかり考えて行動してほしい	3.6 (6)	—	4.1 (6)
興味のあることにどんどん挑戦してほしい	3.0 (5)	—	3.4 (5)
就職がますます難しくなった	3.0 (5)	—	3.4 (5)
命の尊さを知ってほしい	3.0 (5)	20.0 (3)	1.4 (2)
手に職をつけてほしい	2.4 (4)	—	2.7 (4)
日本には住みたくない・日本で暮らすことに不安	1.8 (3)	6.7 (1)	1.4 (2)
人と人のきずなを大事にしてほしい	1.8 (3)	—	2.0 (3)
元気でいてくれるだけでいい	1.8 (3)	—	2.0 (3)
電力関係企業には就職してほしくない	1.8 (3)	6.7 (1)	1.4 (2)
節約意識が高まった	1.2 (2)	—	1.4 (2)
子どもの将来が心配	1.2 (2)	—	1.4 (2)
その他	12.7 (21)	20.0 (3)	12.2 (18)

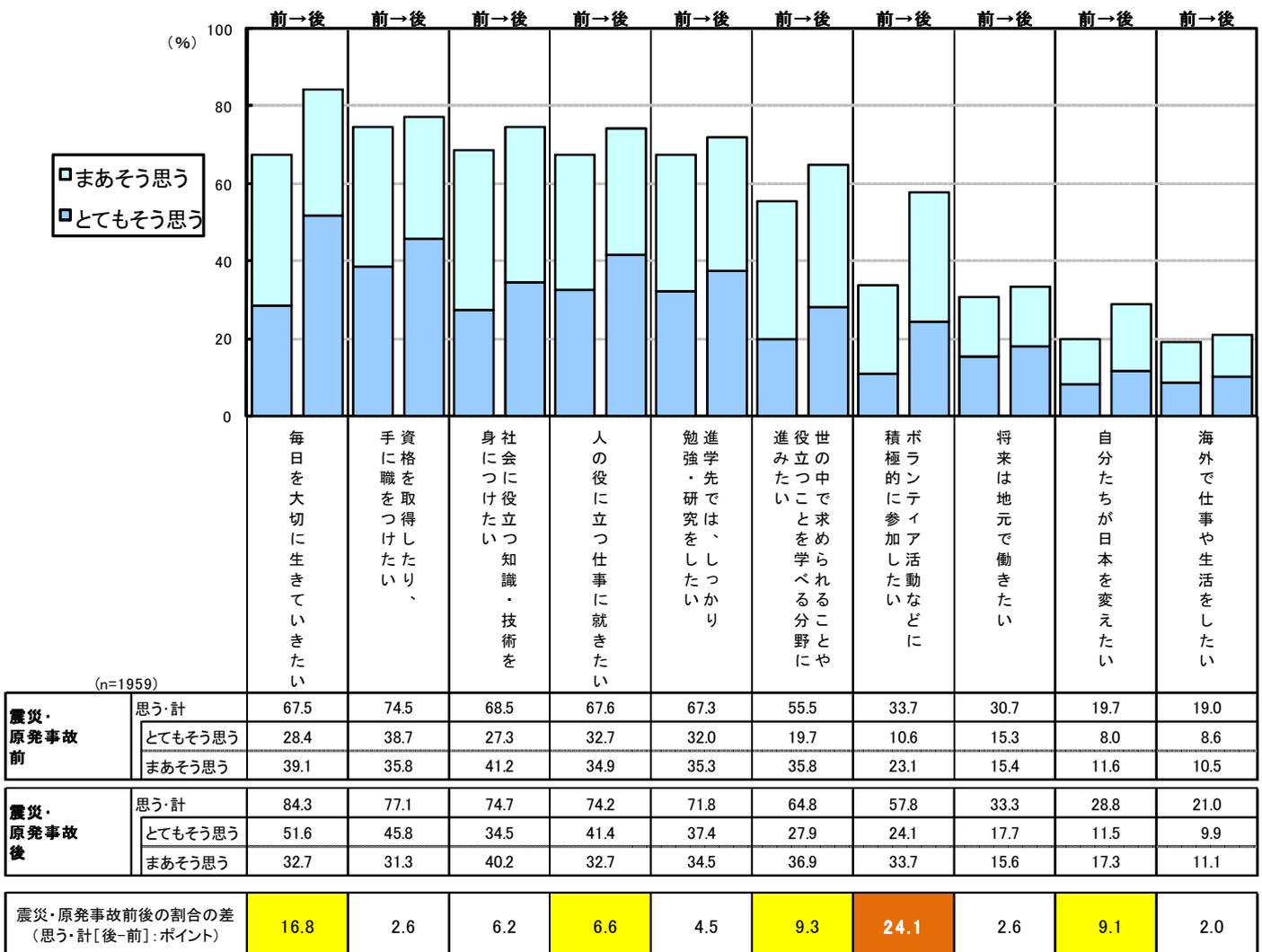
【（高校生）震災・原発事故前後での変化】

◆ 高校生の震災・原発事故前後で最も変化の大きかった項目は、「ボランティア活動などに積極的に参加したい」（24.1ポイント増）、次いで「毎日を大切に生きていきたい」（16.8ポイント増）。

◎震災・原発事故前後で、変化が大きかった項目は、

- ①「ボランティア活動などに積極的に参加したい」
（まあそう思う・とてもそう思う 計[以下省略] 33.7%→57.8% 24.1ポイント増）
- ②「毎日を大切に生きていきたい」（67.5%→84.3% 16.8ポイント増）
- ③「世の中で求められることや役立つことを学べる分野に進みたい」（55.5%→64.8% 9.3ポイント増）
- ④「自分たちが日本を変えたい」（19.7%→28.8% 9.1ポイント増）
- ⑤「人の役に立つ仕事に就きたい」（67.6%→74.2% 6.6ポイント増）

■【高校生】震災・原発事故前後での変化について（全体／各単一回答）



100.0 「思う・計」の前後の差が最も大きい
100.0 「思う・計」の前後の差が2～5番目に大きい

【（保護者）震災・原発事故前後での変化】

◆ 保護者の震災・原発事故前後で最も変化が大きかった項目は、「ボランティア活動などに積極的に参加してほしい」(17.5ポイント増)、次いで「自分たちが日本を変えたいと思うようになってほしい」(10.1ポイント増)。

◎震災・原発事故前後で、変化が大きかった項目は、

①「ボランティア活動などに積極的に参加してほしい」

(まあそう思う・とてもそう思う 計[以下省略] 48.1%→65.6% 17.5ポイント増)

②「自分たちが日本を変えたいと思うようになってほしい」 (24.1%→34.2% 10.1ポイント増)

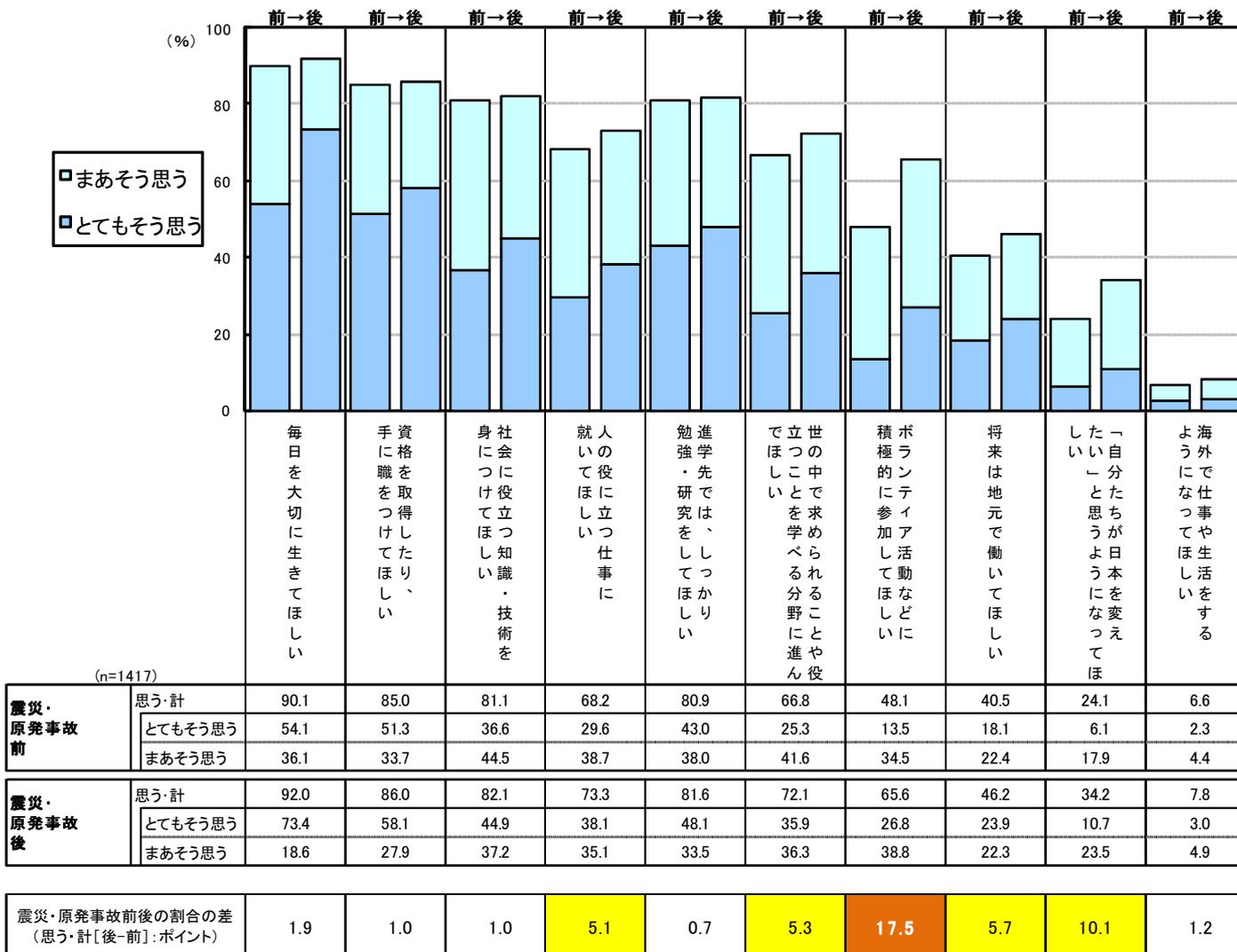
③「将来は地元で働いてほしい」 (40.5%→46.2% 5.7ポイント増)

④「世の中で求められることや役立つことを学べる分野に進んでほしい」 (66.8%→72.1% 5.3ポイント増)

⑤「人の役に立つ仕事に就いてほしい」 (68.2%→73.3% 5.1ポイント増)

◆高校生、保護者ともに、震災・原発事故前後で最も変化が大きかった項目は「ボランティア活動などに積極的に参加したい(してほしい)」。高校生で2番目に変化が大きかった「毎日を大切に生きていきたい」については、保護者は震災・原発事故以前から90.1%がそう思っており、大きな変化はなかった。

■【保護者】震災・原発事故前後での変化について（全体／各単一回答）



100.0 「思う・計」の前後の差が最も大きい
 100.0 「思う・計」の前後の差が2~5番目に大きい